



1/6 大島椿をPR

この日、伊豆大島からキャンペーン一行が市役所を訪れ、椿まつりのPRを行いました。古くから受け継がれる七島交流、これから見ごろを迎える約300万本の椿を楽しんでみてはいかがでしょうか。



12/20～2/10 水仙の甘い香り広がる爪木崎

第51回水仙まつりが爪木崎で開催され、一面広がる水仙に多くの観光客が賑わいました。日曜日には池之段味噌のサービスやよさこいの演舞、下田太鼓の演奏も行われ、青い海とともに、真っ白な水仙を楽しみました。



1/7・8 早春フラワーウォーキング

第19回下田水仙ツーデーマーチが2日間にわたって行われ、ウォーカーが新春の下田を満喫しました。開国の歴史を偲ぶコース、可憐な水仙と灯台の爪木崎を楽しむコースで身も心もすっきりな2日間でした。



12/21 自転車をかけてひとやすみ!

伊豆森林組合に所属する地域おこし協力隊の池田奈都美さん、前田聖洋さんによって製作された「天城杉」の間伐材を利用した「自転車スタンド」です。道の駅、尾ヶ崎ウィングに設置されサイクリストの疲れを癒します。



1/10 さらなる安全を目指して

下田地区消防組合で年始の特別点検が行われました。管理者である福井市長が服装や消防手帳の点検をした後、「住民を守るため、消防技術を磨き鍛錬して欲しい」と訓示し、士気を高めました。



1/4 地域の安心、安全に結びつく「消防団」

消防団出初式が下田小体育館で行われました。市長式辞、団長訓示、各種表彰が行われました。終了後には、消防車両と分列行進により旧町内をパレードし、防火をPRしました。お休み前には火の元の点検、よろしくをお願いします。

- 4日 下田市消防団出初式
新年賀詞交換会
- 7・8日 第19回下田水仙ツーデーマーチ
- 8日 下田市成人式
- 10日 海上安全祈願祭(伊豆漁協)



- 10日 下田地区消防組合特別点検
- 11日 湯権現祭(運台寺)
合同海上輸送訓練
- 14日 遊・VIVA! カブラフェスティバル
- 22日 第45回下田・河津間駅伝競走大会

地域子育て支援センター通信



問合せ先 地域子育て支援センター ☎272200

3月の予定

- 1日(水) めだかルーム(午前)
- 6日(月) 体育館で遊ぼう(9:30～)
- 8日(水) あひるルーム(午前)
- 10日(金) ※午後閉館(玩具消毒・洗浄)
- 13日(月) 発育測定・発育相談(10:00～11:00)
- 15日(水) うさぎルーム(午前)
- 22日(水) 大きくなったねの会(10:45～)
- 24日(金) 3月生まれ誕生会(申込み22日まで)
- 30日(木) ※午後閉館(フロアマット・玩具消毒)
- 31日(金) 閉館(年度末整理日・新年度準備)



暦の上では立春と、春を迎える節目ですが、一年で最も寒い季節で、風邪の流行する時期でもあります。手洗いとうがいをこまめにし、この季節を元気に過ごしましょう。暖房のきいた暖かい部屋は心地よいですが、こまめに窓を開けて空気の入替えも忘れずに行きましょう。

3/22(火) 大きくなったねの会

お子さんの成長を皆さんで喜び合い、1年間を振り返りましょう。スタッフの出し物のほか、サクソ&トランペットの演奏もあります。10時45分開始、申込不要です。



下田再興日誌

「人生3万日」

1月8日には、成人式がありました。新成人の皆さまは華やいだ和やかな雰囲気にもまれ、旧友や恩師との再会を心行くまで楽しんでいらつしやいました。
夢と希望に満ち溢れた大変良い成人式であったと思えます。これからの人生に幸多かれとお祈り申し上げます。
新成人の皆さまにはこれからの人生の道標として、「人生3万日」の中の1万日ごとの意義を紹介したいと思います。3万日は82歳で迎えることとなります。
最初の1万日は、27歳となります。この期間は、下積み期間を通して、他人のために活動することが多く、この活動を通じて自分を高めるための修養期間です。
次の1万日のために必要な幅広い人格形成には、多様な経験をするのが大切です。広い視野と柔軟な思考を身に付ける最も適した1万日と言

えます。
次の1万日は、54歳9か月を迎えます。この1万日は、前の1万日に培った実力を存分に発揮できる期間であり、人間としても社会に築ける重要な1万日です。人々から信頼を受け社会に認められ、自分の価値観を確立して、その価値観に基づき充実した日々を過ごせる期間です。
そして、家族の一員としても、重要な役割を果たさなければなりません。
人生の大きな節目の60歳の定年は2万2千日で迎えます。3万日まで残り8千日です。自由な時間を過ごせます。自分のため、社会のため、体を気遣いながらやり残したことを総ざらいする日々、時間を十分に割くことができる自由があります。
このように、1万日ごとに区切るとそれぞれの道標が浮かんでいきます。
新成人には、1万日、2万日、3万日と道標を踏破するために、充実した日々を過ごしていただくよう心から願っています。
下田市長 福井 祐輔